

なにわ名物 開発研究会 NEWS

<第2号>

1998年11月4日発行

発行
なにわ名物開発研究会

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋2-18-6
アベニュー心斎橋502号
TEL・FAX 06-213-5554



約二年間の準備期間を経て、平成八年七月二十九日に誕生した「なにわ名物開発研究会」は、メーカー、卸売業、小売業、クリエイター等が結集し、大阪の活性化、観光の振興、まちづくりに貢献し、「新感覚のなにわ名物」の開発を目指しています。

オモロイことを真面目に取り組みまへんか？

現在会員は六十九名。「大阪が好きやねん」「このまちが、私の生きている、仕事をしたい、遊んでいるこの地域が好きや」という共通項のもと、様々なバックボーンや価値観を持つ人達がネットワークを作り、イチビリ精神を忘れずに、真剣に、楽しんで活動していければ」と、われらが代表幹事の野村育郎さん(株)せのや代表取締役)の「自分たちが、主体となっているならこんな他人事はおかしい」のポリシーそのままに、アットホームな中にも真面目に大阪を考える研究会です。会員企業同士がそれぞれに商売を行うなど会員交流も盛んで、「なにわの商人らしく皆ビジネスチャンスは逃さない」異業種交流



「イチビリ精神を忘れずに楽しんで活動したいですね。」代表幹事の野村育郎さん。



「イチビリ精神を忘れずに楽しんで活動したいですね。」代表幹事の野村育郎さん。

会であるため、どこに商売のネタがあるか分からない」と意欲に満ち溢れとります。

具体的にどんなことをしとるか、ちよつと紹介させてもらいます。基本的に活動は、各部会がそれぞれに企画を企てています。総務部は毎月の例会を開催、会員交流部は会員相互の交流をサポートするため各種イベントを企画。広報部では、会員のニュース、広報紙を発刊しとります。イベントチームはその名の通り対外的にイベントを企画、八月二十四日(三十日にはJR新大阪駅で「ワッハ上方・なにわ名物にぎわいフェア」を開催し好評を博したばかりです。まちづくりチームは中之島まつりや住吉文化フォーラム等の「地域活動」への参加者を募集。マーケティングチームはインターネットホームページの開設、なにわ名物商品の通販を担当、意識調査の集計結果を含め、「なにわのキーマン」のインタビューを掲載した「なにわ名物白

書」も刊行しています。商品開発チームは、会員メンバーからのアイデアをもとにオリジナル商品を開発し、大阪学研究チームは「もっと大阪を勉強する」ために講師を迎え「なにわ学実践講座」を開催。すでに五回目を数え、毎回多彩なゲストで人気を集めています。

また、今年の七月二十八日(なにわの日)には、「第一回なにわ大賞」を実施。栄えある大賞は出版社JDC社長のあんがいがおまるさんに決定。大阪一のイチビリを表彰する同賞は、第一回目ながら予想を上回る応募者の数に、選定委員長の難波利三氏をはじめ、関係者一同大喜びでした。この賞は来年度以降も引き続き行う予定で、大阪を愛する人々の地道な活動を応援する賞として、広く愛される賞になることを会員一同願っています。

大阪を広くアピールし、魅力ある大阪づくりを目指す「なにわ名物開発研究会」は、大阪を愛する人の入会を心よりお待ちしております。

「何かオモロイことしたい」「新しい商売したいねんけどなあ」と思っている方は、ぜひ一度研究会に遊びに来て下さい。



「第1回なにわ大賞」も大成功

例会 月報

「大阪人はもつと自信を持たなあかん」 大阪の観光価値を強調

十月十四日、十月の月例会がホテルメトロThe 21で行われた。今回の月例会講師は木村勇氏（大

阪市経済局国際経済・観光担当部長）。大阪観光土産品協会顧問でもある木村氏は、神戸生まれの東京育ち。しかし、大阪市役所に奉職する以前から大阪には愛着を感じていたそうで大阪市港湾局に入局後、開催しウオーターフロント開発のきっかけを作った。

「平成六年に大阪市がこれからは観光に力を注ぐということで『大阪市観光基本施策への提言』を発表しました。具体的には①集客魅力の創出、②シティプロモーション③ビクターズインダストリーの振興④研究開発・人材育成の強化、これら四つを積極的に推進することで、大阪を観光都市として世界にアピールしようというものです。現在、大阪城で観光ボランティア講座を開いており、大阪城の歴史等を学んでいた

き、大阪城をガイドしてもらおうのですが、この講座が大変好評でいつも定員を超える応募があり、私共も市民の皆さんの観光に対する関心の高さに驚いています。

大阪は歴史が古く、住吉大社も実は国宝に指定されているんです。東京の歴史民俗博物館では、日本の庶民文化として大阪の法善寺横丁の町並みを再現して紹介しています。大阪では普通のものでも、全国的には素晴らしい文化として認識されているのですから、私達大阪人はもつと自信を持って、大阪文化と新しい施設をうまく融合させ、集客に結び付けなくてはいけません」。木村氏の熱弁に、来る二十一世紀に向け観光都市・大阪をいかにアピールするか、会員一同決意を新たに

した。



ディビットさん大阪ライフを満喫

「私は阪神ファンですが、タイガースは最悪のチームの一つだと思いません」辛らつな阪神批判をしたのは、九月の月例会講師でハイアットトリ

ジェンシーホテル大阪でセールスマナリストを務めるディビット・テイラーさん。「外国人から見た大阪」と題して行われた講演で、自らの経

験を踏まえ、大阪の印象を語った。「大阪には九三年暮れに来ましたが、仕事をやる上でまず驚いたのは、日本人の多くが、ホテルで結婚式を挙げることです。アメリカでは一般的には教会で式を挙げ、それからどこかのレストラン等で披露宴を行います。しかし日本の様に全てをホテルで行うことは、我々ホテル側にとっては、一生のお客様になるわけですからとても重要なことです。また、私は野球が好きで、甲子園にもよく行きます。いつも阪神を応援していますが、タイガースは最悪のチームと言えます。しかしファンは最高で

大阪の玄関口に「なにわ名物上方横丁」現る

八月二十四日から三十日まで、新大阪駅内物販催事・「なにわ名物上方横丁」がJR新大阪駅内の動輪前広場で開催された。株式会社ジェイ

オール西日本ファッショングッズが主催するもので、なにわ名物開発研究会会員の株式会社せのや、アルカナ株式会社、株式会社ロマン、葉文館出版株式会社、天満工業株式会社、SE N企画、有限会社芳貴製作所、株式会社つるや製菓、中島製菓、丸英製菓株式会社、株式会社楽天軒本店、アート・ウイルの合計十二社が出店、七日間の販売合戦となった。初日は午前七時から商品の設営が始まり、ワゴン台には大阪名物の製菓類、小物が色とりどりに並べられた。また、その側にテレビを設置、「なにわ大賞受賞式」の録画映像を

す。ぜひ日本一になってもらって道頓堀に飛び込むのを見たいですね」奥さんが大阪出身のディビットさんの話しには、厳しい中にも大阪に対する愛情が感じられた。



写真左がディビットさん

終始再生しPRした。

連日は午前十一時から午後七時まで開店、販売員として二名以上のスタッフが売り場を担当。主な購買層は、府外からの観光旅行者および出張サラリーマンだったが、スタッフの「まいど、らっしゃい！」の「大阪弁」のかけ声に話が弾むことも。全体の売上高は初日の月曜が一番高く、その次が日曜、土曜の順だった。



なにわ学実践講座

「水都」のイメージを大切に

回を重ねるにつれ、ますます好評を博している「なにわ学実践講座」が八月二十七日行われた。五回目となる今回は大阪大学大学院工学研究科助教で建築家の加藤晃規さんが「なには（大阪）の未来を考える」と題し、二十一世紀型の街づくりについて講演した。

「大阪のもとともの人、物、金の流れは東西を軸としていました。それが昭和元年の御堂筋の着工を機に東西から南北の流れへと変わります。東西から南北へ、これが大阪の近代化の象徴です。そして経済の成長とともに南北の流れは、より機能性を重視し発展してきました。しかし、これからは機能性を重視するいわゆる「男性型」の街づくりでは無く、アメニティを追求する「女性型」

でなければなりません。そのためには、今一度東西軸に着目し、加えて「川」を取り込んだ新しい「水都・大阪」を実現すべきです」と、大阪の近代建築物の変遷をスライドで紹介しながら熱く語った。



部会報告

総務部

●平成十年度月例会予定

毎月の月例会の運営を主に担当し、当会の事業内容の報告、講演会等による会員諸氏の研鑽、交流の場となる様企画しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。11月19日（木） なにわ大賞受賞者

会員交流部

●ただいま部員大募集

皆さんこんにちは、会員交流部部長を仰せつかっております松本です。私たちが会員交流部はより親密な

会員相互の交流をサポートする事を目的として活動しております。

なにわ名物開発研究会も単なる親睦会から、パートナーシップを育みお互いが助け合える、相互啓発の会に発展すべき時期になりつつあります。その為には、販売人同士、仕事する事が一番と思い、今回のいきいきフェスタの様な会員さん同士で仕事内容を知り会える機会を作る事としました。また、外部の方とも触れ合うことで、共に学べるチャンスにもしたいと思っております。

皆さんが入って良かったと思って頂ける会作りを目指して頑張っております。また、我々交流部を助けて下さる人材を募集中です。

マーケティングチーム

●アクセス急増!

●なにわ名物開発研究会 ホームページリニューアル

当研究会のホームページが新しくリニューアルしました。お問い合わせもEメールで!

<http://osaka-net.com/haniwa>

E-mail: haniwa@osaka-net.com

また、本研究会の事業活動の集大成として、新しい大阪づくりについて大学教授、専門家、各種団体リーダーから寄せられたアドバイスや提言、インタビューをまとめた「なにわ名物白書」が好評発売中。「なにわの言葉から何を連想する?」「なにわ名物といえは?」など「なにわ」に関する様々な意識調査を年代別、

「なにわ名物」認定委員会

●「なにわ名物」大集合!

「なにわ名物開発公社」のマークが使用できる! 少々、期間があいてしまいました。第二回の認定委員会を十一月下旬に開催し、十一月の月例会にて発表・報告させていただきます。

尚、「ウチにもこんなあるぞ」と、認定希望商品をお持ちの会員の皆様につきましては、今後は、随時受付とさせていただきます。認定委員長あてに、ドンドンご応募下さい。詳細は、ピンハウス（株）藤井まで 06(943)1691

広報部

●おもしろネタ待ってます

今回、会員トピックスではアートのスペース様のクリスタ店開店を取り上げました。新企画、新商品等、どんな情報でも結構ですのでトピックスのご連絡お待ちしております。第三号は、二月ごろ発刊予定です。



地域別にまとめ、ユニークな回答や大阪に対する本音を掲載した貴重なデータも掲載。A4版六十ページ、定価三千円。/会員特別価格二千円。お問い合わせは0六―八三八一―七〇五（有）リミックス・金田まで

会員トピックス

地下鉄心斎橋駅に直結するクリスタ長堀に、総合ブライダルショップ「アートスペース」が登場した。注目はウエディング・カラーともに五万円均一のセルドレス。

イギリスやアメリカなどから輸入された約三〇〇点がそろい、今後もちろん、サイズ直しや無料引き取りなどにも気軽に対応してくれる。また、ドレスだけでなくウエディングを総合的にサポートしてくれる。オリジナルウエディングのプロデュースから海外挙式の紹介まで、あらゆる相談につとめられる。

交通/地下鉄御堂筋線心斎橋駅直結
営業時間/11:00-20:00(第2水曜定休)
問/06(282)2088



会員紹介 シルエット(株)

世界でたったひとつだけ!

あなただけの「オリジナルグッズ」がつくれます

お気に入りの写真・雑誌の切り抜き、あなた自身で描かれたイラストなどから、あなただけの「オリジナルグッズ」を作製します。ご注文は一個からお受けします。

(オリジナルグッズの種類)

- Tシャツ・白/2900円 子供サイズ・M・L・LL
- 黒・グレー/3900円 M・L・LL
- トリーナー・白/3900円 子供サイズ・M・L・LL
- 黒・グレー/4900円 M・L・LL
- ミニ・Tシャツ・白・黒・グレー/1200円
- マグカップ・ティーカップ・1800円
- ジグソーパズル・3900円 A3サイズ フレーム付
- バッチ・800円
- キーホルダー・1000円
- バッグ・ホルダー・1200円
- クッション・4900円(450×450)
- リストウォッチ・白・ピンク・サックス(ベルト)/3800円
- シルエット株式会社 担当/内藤
- 〒541-0053 中央区本町2-1-7本町ビル8F
- TEL/06(262)2681
- FAX/06(262)2684
- URL <http://www.infomart.or.jp/silhouette/>



会員紹介 (有) 大阪蛇ノ目

大阪名物といえば、お好み焼き・たこ焼き。大阪の専門店に的を絞り、自社開発の業務用お好みソースを製造しています。府下ソースメーカーでの取扱量は三本の指に入るといふ、専門店に認められた味が自慢です。今から三年前「今度は一般家庭向けにナニワのソースを作ってみよう」と思い立ったのは、ある日テレビ番組で大阪の芸人が、広島発のソースを宣伝しているのを見て、違和感を抱いたのがきっかけとなりました。「広島には広島焼きの、大阪には大阪のお好み焼きにふさわしいソースがあってもいいのに」との思いで、ナニワにふさわしいソースを徹底的に研究した結果、「やっぱり一番おいしいのは、うちの今のソース」という結論に。中身は業務用そのままに、容器・ラベルを家庭用に開発したのが、今、市場に出ています。「なにわソース」です。今後はソースだけでなく、ご当地大阪ならではの調味料を企画していく予定です。

〒540-0008 中央区大手前1-13-62
06(947)1833



今年度新入会員紹介

正会員
元林印刷(株) 印刷業
個人会員
鎌田利幸 関西日本電気ソフトウェア(株) 勤務
吉田富美子 アートガラスプロッサム勤務
「皆さんよろしくおねがいします」

編集後記

「不況といえども動いている人は、やっぱりよく動いてはる」今号発刊にあたっての取材の印象です。さあ私もガンバロツ!

(五十殿)

会員の皆さんの商品を展示。会員交流のサロンとして、お気軽にご利用下さい。
なにわ名物開発研究会

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋2-18-6
アベニュー心斎橋502号
TEL・FAX 06-213-5554
<http://osaka-net.com/naniwa>
E-mail naniwa@osaka-net.com

または代表幹事 野萩育郎
TEL06-211-0685
FAX06-211-0686
謝せのや

